

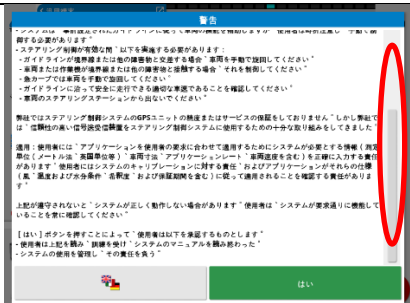
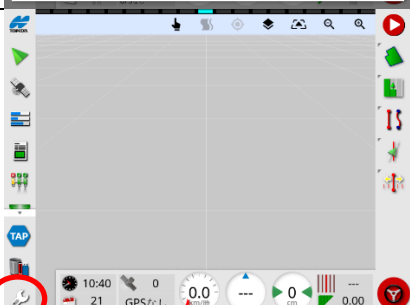



トプコン ISOBUS システム
可変施肥操作マニュアル
(HORIZON5)

第一版

本紙では、マップベース可変施肥を行う際の設定手順を説明します。ISOBUS 接続及び設定に関する手順は別紙を参照ください。

① 可変施肥機能設定 ※作業機との接続設定は別紙を参照ください。

手順	イメージ	内容
1.		<p>X25(A)の画面に警告文が出てきたら下にスライドした後、「はい」を選択します。</p>
2.		<p>「はい」を選択した後、走行画面が立ち上がります。左下にある「スパナ」のアイコンを選択します。</p>
3.		<p>「システム」→「機能」→「牽引機器」を選択して、「変動レート制御」を有効にしてください。有効にしましたらガイダンス画面に戻ります。</p>

② 施肥マップ(Shape File)取り込み

ここでは USB に保存した施肥マップ(Shape File)ファイルを取り込む手順を説明します。施肥マップは事前に USB に保存して準備ください。

1.		<p>コンソールを起動してガイダンス画面を表示した後、データを保存した USB を挿入してください。</p>
2.		<p>ISOBUS 作業機の接続が必要ですのでコネクタを繋ぎ、作業機の画面を表示してから施肥マップの取り込みを行なってください。</p> <p>詳しくは別紙「ISOBUS ハーネス取付け設定マニュアル rev4」を参照してください。</p>
3.		<p>「タスク」→「新規」を押して新規タスク作成画面に移動します。</p> <p>※圃場境界を作成している場合は事前に圃場を選択してください。</p>
4.		<p>「タスク」→「VRC 設定」を押して VRC の設定画面を表示します。</p>
5.		<p>ソース設定画面に切り替わります。</p> <p>「なし」を押してソースを割り当ててください。</p> <p>ソース：作業機用の処方マップ</p>

6.		<p>ソース選択画面で「シェープファイル」を選択して OK を押してください。</p> <p>※選択された行は白色に変化します。</p>
7.		<p>Shape File が保存されているファイルを選択します。</p>
8.		<p>ファイル内の地図情報を選択し、 OK を押してください。</p> <p>※選択された行は白色に変化します。</p>
9.		<p>施肥マップの概要が表示されますので内容を確認し、 OK を押してください。</p> <p>属性：Shape File に含まれている散布量情報 スケール：任意で散布量を増加、減少することができます。 例えば、1.1 は設定されている流量の 110% を散布します。 既定値：ソースに流量が設定されていない場合に流量を設定します。</p>
10.		<p>これで設定完了となりますので OK を押してください。</p>
11.		<p>ガイダンス画面に戻り、右上のタスク開始ボタンを押すとマップが画面上に表示されたら設定完了です。</p>

③ 可変施肥の開始・終了

<p>1.</p>		<p>🌱 を押し、ISOBUS スプレッダー画面を表示し、A 自動 を押します。</p>
<p>2.</p>		<p>VRC を押し、VRC モードに切り替えます。</p>
<p>3.</p>		<p>VRC モードに切り替えると作業機ライン上の指定された散布量が ○ 内に表示されますので散布前に確認してください。 表示されない場合は施肥マップ上に移動してください。</p>
<p>4.</p>		<p>汎用端末画面の散布量にも自動的に散布量が反映されます。 反映されない場合は TC 設定がされていない可能性がありますので作業機との接続設定を確認してください。</p>
<p>5.</p>		<p>作業を終了する時は右上のタスク開始ボタンを押し、「完了」を押してください。 肥料の補充などで止めたい場合は「一時停止」を押してください。</p>

改訂履歴

2021/06/17: 初版

以上